

1 キリスト教教理入門

- 1
1. 神学をすること
 2. 神の啓示
 3. 神の性質
 4. 神のみわざ
 5. 人間
 6. 罪

- 2
7. キリストの人格
 8. キリストのみわざ
 9. 聖霊
 10. 救い
 11. 教会
 12. 終末

2 第二部 神を知ること

- 1 「キリスト教神学」
- 8章 神の普遍的啓示
 - 9章 神の特別啓示
 - 10章 啓示の保存: 靈感
 - 11章 神の言葉の信頼性: 無誤性
 - 12章 神の言葉の力: 権威
- 2 『キリスト教教理入門』
- 3章 神の普遍的啓示
 - 4章 神の特別啓示
 - 5章 啓示の保存: 靈感
 - 6章 神のことばの信頼性: 無誤性
 - 7章 神のことばの力: 権威

3 第7章 神の言葉の力: 権威

1. 宗教的権威
2. 聖霊の内的働き
3. 権威の客観的そして主観的要素
4. 聖書と理性
5. 歴史的そして規範的権威あるもの

4 第一節 宗教的権威

1. 権威とは—What?
2. 信条・行為を規定する権威—Where?

5 第二節 聖霊の内的働き

1. 啓示と靈感と照明
2. 存在論的差異: 創造者と被造物の関係
3. 神の事柄・人の永遠の運命—確かさ
4. 人類の罪深さに由来する制限
5. 「デコマイ」—歓迎し、受け入れる
6. 人間の知恵によってではなく
7. 心の覆いを取り除けられる
8. 一度きりのみわざと継続的な働き
9. 新しい啓示の追加ではなく

6 **第二節 聖霊の内的働き**

1. 啓示と靈感と照明
2. 存在論的差異: 創造者と被造物の関係
3. 神の事柄・人の永遠の運命—確かさ
4. 人類の罪深さに由来する制限
5. 「デコマイ」—歓迎し、受け入れる
6. 人間の知恵によってではなく
7. 心の覆いを取り除けられる
8. 一度きりのみわざと継続的な働き
9. 新しい啓示の追加ではなく

7 **第三節 権威の客観的・主観的要素**

1. バーナード・ラムの「権威のパターン」
2. 「一日一章、悪魔遠ざける」
3. 権威ある聖書と聖霊の特別な働き
4. 客観的基盤と主観的経験

8 **第四節 聖書と理性**

1. 聖書の権威と理性の関係
2. 立法的権威と司法的権威
3. 聖書と種々の解釈学

9 **第五節 歴史的・規範的権威**

1. 当時の人々を拘束するものと私たちを拘束するもの
2. 一時的な形式と普遍的な本質